

令和8年2月2日

国立大学法人東京海洋大学

本学練習船「海鷹丸」の状況について ー第2報ー

本学練習船「海鷹丸」は1月12日にオーストラリア・フリーマントル港を南大洋航海に向け出航後、不具合箇所が見つかったため、不具合の状態を確認しておりました。最終的に航行は可能ですが南大洋観測は不可能と判断しました。なお、これを受け政府の南極地域観測統合推進本部は海鷹丸による観測航海の中止を決定しております。（参考：[第67次南極地域観測隊行動実施計画を変更しました：文部科学省](#)）

また、海鷹丸は1月28日に関係機関の臨時航行検査を受け、航行に支障がないことが確認できたことから、1月31日に南大洋観測関係の研究者が下船した後、東京に向かって航行を再開しました。

なお、現時点において海鷹丸の実習生および乗組員全員の安全と健康状態には問題ございません。

【本件に関するお問い合わせ先】

海鷹丸第78次遠洋航海サポートデスク

メールアドレス：[78umitakaenyo@m.kaiyodai.ac.jp](mailto:78umitakaenyo@m.kaiyodai.ac.jp)